

小学部の授業実践（ダイジェスト版）

小学部3年 単元「ジュースをかってパーティーをしよう！」

実施期間 令和3年6月23日～9月24日（全13時間）

ステップ1：単元設定

子どもの実態

本学級は4名の学級である。友達同士で関わり合って遊ぶことが多く、互いの行動にも関心が高い。個々に役割を担う経験はあるが、一つの目的に向かって共に取り組む経験は少ない。

単元観

パーティーは、児童が興味・関心を持ちやすく、一人一人に応じた活動を設定しやすい。また、準備や片付けなどの活動は、家庭の役割を担うことにもつながりやすい。

ステップ2：単元目標

知・技	自動販売機でジュースを買ったり、パーティーの準備をしたりする。
思・判表	教師や友達と計画したり、一緒に活動したりする。
学・人	友達と一緒に活動する楽しさを味わいながら、進んで役割を果たそうとする。

ステップ3：単元計画

学習活動	重視する学びの姿			時数
	主	対	深	
1 「おたのしみじどうはんばいき」をよもう (1) オリジナル仕掛け絵本を読む。 (2) 自動販売機の模型で遊ぶ。 (3) 自動販売機を探しに行くことを知る。	◎	○		1
2 じどうはんばいきをみつけよう (1) 自動販売機を探しに行く。 (2) 先生がお茶を買う様子を見る。 (3) 振り返りをする。	◎		○	2
3 ジュースをかってパーティーをしよう (1) 準備物や係を知る。 (2) 係を話し合って決める。 (3) パーティーをする。 (4) 振り返りをする。 > ・係を交代しながら、計4回パーティーを行う(3回目*)	○	○	○	9
4 みんなにおしえよう (1) パーティーを振り返る。 (2) ジュースの買い方を教える準備をする。 (3) 友達に教える。	○		○	1

焦点を当てた授業*
その6・7

子どもの思考の流れ

主 自動販売機って面白い！使いたい！
興味・関心や期待感を持つ

対 友達のやり方をまねしてみよう！
互いの活動を見合う

主 自動販売機はどこにあるのかな？
目標や目的意識を持つ

深 お茶はどうやって買うのかな？
知識や技能を相互に関連付けたり、活用したりする
自分の好きなジュースを買いたいな。
課題を見付ける

対 みんなで協力すると楽しいな。
係の仕事をして良かったな。
友達と協働する

深 どうしたらできるかな。
課題解決に向けて活動する
できるようになったよ。
自分の成長を実感する

深 みんなにも、教えたいな。
どう言ったら伝わるかな。
自分の考えをまとめる

*焦点を当てた授業：詳細を紹介する授業

ステップ4：焦点を当てた授業の目標と評価規準



Aさん

友達と二人で、コップ係の仕事に取り組む。	知・技	コップ係がすることが分かり、手順に沿って行っている。
	思・判・表	状況を見て、コップ係の仕事をしている。
	主体的	友達に合わせてたり働き掛けたりしながら、コップ係の仕事しようとしている。

ステップ5：授業計画

★Aさんへの支援



授業の実際

Aさんの学びの姿

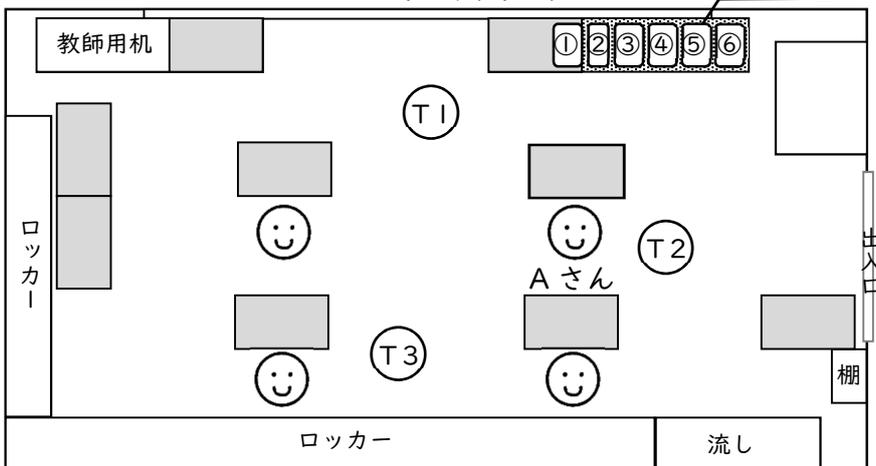
学習活動	重視する学びの姿	支援の手立て
1 ジュースを買って、パーティーをすることを思い出す。	主：学習内容を思い出し、期待感を持つ。	・カレンダーの「パーティーシール」を示す。①
2 自分の係を知る。	主：係の活動内容を知り、期待感を持つ。	・係ボードや道具、エプロン等を示す。②③ ・何の係をするか発表する場を設ける。
3 係の活動を行う。 <small>コップ係：下線はAさん ①机を動かす。(二人) ②台拭きをして、トレイを配る。 ③コースターとストローを配る。 ④飾り作りの道具と片付けトレイを用意する。 ⑤飾りを作る。(二人) ⑥氷を取りに行く。(二人) ⑦コップに氷を入れ、配る。</small>	対：友達の動きを見て確認したり、友達の活動を待ったり、活動を促したりする。 深：できていないことや足りないものに気づき、自分で解決しようとする。	★二人一組で仕事をすることが分かるように、コップ係の手順書（「お仕事ボード」）を提示する。④ ★「お仕事ボード」の見方を教え、活動の順番を意識付ける。 ・自発的な言動を待つ。 ・使用する道具を、手順に沿って、整理して置く。⑤
4 パーティーをする。 (1) パーティーをする。 (2) 突然の来客に対応する。	深：係の仕事をしてよかったと思う。 深：お客さんの机やコップ等が必要なことに気づき、自分たちで準備する。	・互いに感謝の言葉を伝えるようにする。⑥ ★状況に気付くような発言をしたり、反応を待ったりする。
5 学習のまとめをする。	対：友達の活動にも注目する。 深：自分の成長に気付く。 主：「もっとやりたい」と更に意欲を高める。	・一人一人の活動を動画で紹介しながら、頑張ったところを称賛する。 ・カレンダーを使って、次時の活動を伝える。

- 主**
 - ・ちらっと見ただけではあるが、じっと聞いていた。
 - ・係の仕事内容の説明をよく見たり聞いたりした。
 - ・発表後の友達に、合図を送った。
 - ・エプロンを付けて、ポーズをとった。
 - ・「私、これするねー。」と言った。
- 対**
 - ・友達と協力して椅子と机を動かした。
 - ・私が拭いた机の上に、友達がトレイを配ってくれたから「オッケー。」と声を掛けた。
- 深**
 - ・友達が動かした机の向きが逆になっていたため、「さかさまになってるよ。」と言って正しく直した。
 - ・「〇〇ちゃん、いないから。」と、欠席している友達の机は要らないと判断した。
 - ・「〇〇ちゃん、ここだよ。」と声を掛けて、友達と一緒に係の仕事をした。
- 深**
 - ・司会の友達に名前を呼ばれて、ぱっと顔を上げた。
- 深**
 - ・お客さんの机や椅子、コップやコースターを準備した。することを思い出そうとして、「なんだったかなあ？」と、じっくり考えた。
- 対**
 - ・自分や友達の活動の様子によく注目した。
- 深**
 - ・褒めてもらって、笑顔になった。
- ・ちらっと見ただけではあるが、じっと聞いていた。

ステップ5：授業計画 環境設定／教具

学習活動1・2・5

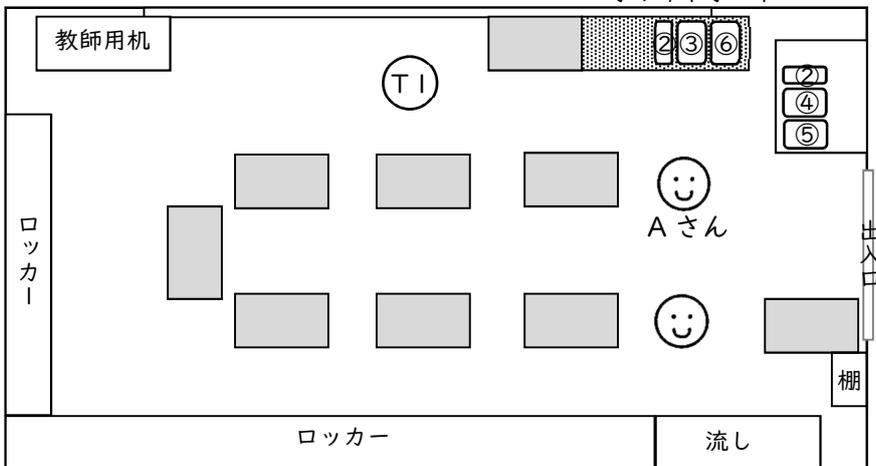
ホワイトボード



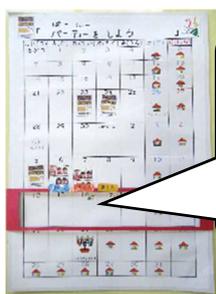
- ① 財布・ナップサック・エプロン
- ② トレイ
- ③ 氷運搬用籠
- ④ 水切り籠・ナイロン袋
- ⑤ コースター・ストロー・トング・布巾
- ⑥ 飾り作りセット (画用紙・ひも・ビーズ・2つ穴パンチ・パンチ用補助具)

学習活動3・4 (セッティングの仕方)

ホワイトボード



- 児童机
- 作業台
- 低作業台
- 児童
- T1 ~ T3 教師



㉑ カレンダー (パーティーシール)



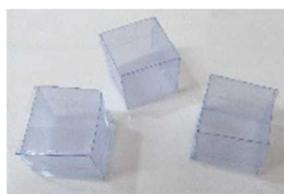
㉒ 係ボード



㉓ エプロン

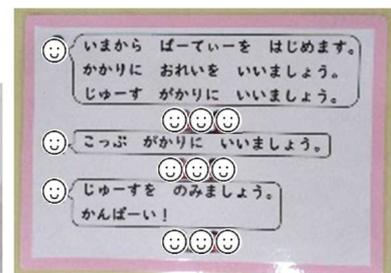


㉔ お仕事ボード



㉕ 氷見本

その他の道具は、
上記①～⑥に示す。



㉖ 司会カード

授業を振り返って

Aさんの授業の目標の評価

知・技	「お仕事ボード」で工程を確認しながら、二人組での仕事に取り組んだ。仕事を終わると、自分でカードを外し、次の仕事を確認した。また、二つの役割に順番が決まっている仕事では、どちらが先に行くかを理解して、正しい順番で行った。
思・判・表	机が逆向きに置かれていることに気付いて直したり、まだ配られていない所を友達に教えたりした。また、来客時には「机がないな。」などの教師の発言から状況に気付き、お客さんがジュースを飲むために必要なものを、考えながら準備した。
主体的	椅子を運ぶ友達の動きに合わせて机を動かすなど、友達の様子を見て、確認しながら動く場面が多く見られた。また、自分の行動に対する友達の反応にも注目し、「オッケー。」と声を掛け合うなど、互いに楽しみながら取り組んだ。

Aさんへの支援の手立ての評価

- 係ボードやパーティー用のエプロン、コップ、コースターなどを使用したことは、Aさんに「やってみたい」という気持ちを持たせ、「主体的な学び」の姿を引き出すことにつながった。カレンダーを見ることで、活動の見通しや意欲を持つことをねらったが、Aさんが注視することはなく、支援の手立てとして有効だったとは判断しにくい。
- 二人組の仕事を設定したことで、相手の動きを見たり、声を掛け合ったりする姿が自然に引き出され、「対話的な学び」の姿を引き出すことにつながった。学習のまとめでは、動画を使用したか、友達と協力している場面への注目の促し方や、見た後に再現して更に確認したりするなどの振り返りの工夫が必要であった。
- 教師の、状況に気付くような発言と自発的な言動を待つ姿勢は、Aさんが身に付けたことを基に考える姿を引き出した。また、活動の理解が深まった後に偶発的な場面（来客対応）を設定することで、課題解決に向けて活動する「深い学び」の姿を引き出すことにつながった。

単元を振り返って

- 本単元において、児童が、友達と協力して一つのことをやり遂げる経験ができ、楽しんで活動する様子が見られた。係の仕事を通して、「友達のためにしたい」「私がやりたい」という気持ちが育ったと考えられる。単元の期間中の他の学習場面で、ジュースを飲む場を設けると、児童同士で教え合って準備した。Aさんが「いらっしやいませ。」と教師をもてなしたり、トレイの不足に気付いた児童が代用の物を用意したりした。
- 手順書の見方や二人組の係に慣れたと感じる。本単元終了後の単元「お店屋さんをしよう」で、二人組の係や、制作工程を分担し、協力して仕上げる活動を設定すると、自分たちで手順書や友達の行動を確認しながら取り組む姿が見られた。また、お店屋さんの役割を理解してお客さんをもてなすなど、役割を果たすことを楽しむ姿が見られた。
- ある児童は休日に外出した際、自分と母親の飲み物を自動販売機で買うなど、学んだことを他の場面や日常生活に生かす姿が見られた。
- パーティーの2回目と3回目の間が1週間ほど空いたことで、具体的な手順を忘れていたことがあった。「子どもの思考」が途切れないようにするための、単元の展開方法についての配慮や手立ての工夫が必要である。

実践を振り返って



「三つの学び」の姿を、引き出すことができましたか？



授業者

単元を通して、自分で考えて行動している姿がたくさん見られました。私たちが引き出したいとねらった姿は、十分、実現できたと思います。特に、Aさんは、本単元中、持てる力を十分に発揮し続けることができました。



指導主事

単元を通してねらいたい「子どもの思考の流れ」を明確にしたことで、引き出したい「学びの姿」も明確になり、実現することができたと思います。しかし、期待する「学びの姿」が引き出せたかどうか、判断が難しい場面もありました。



授業者

表面的な行動だけでは、判断できないこともあるので、評価の難しさを感じます。同時に、「学びの姿」を見取る力の大切さを感じました。



「三つの学び」の姿を引き出すことが、単元目標を達成することにつながりましたか？



授業者

一つ一つの授業においては、「重視する学びの姿」を引き出すことを意識した実践でしたが、単元目標を達成することができました。教具や環境設定の工夫によって、効果的に「三つの学び」の姿を引き出すことができたことが、単元目標の達成につながったと思います。



指導主事

『学びの姿』を引き出すために必要なものは何か」という視点で、教具を作成しました。例えば、「自動販売機でジュースを買う」ことに対しては、「自動販売機でのジュースの買い方の手順書」を作るのではなく、「どうしたら自動販売機を使いたくなるか」と考えて、自動販売機の模型を作成しました。子どもの思考にアプローチする教具を考えることの大切さを感じました。



今後の授業づくりに生かしていきたい授業づくりのポイントは、何ですか？



授業者

一つ目は、「繰り返しのある単元構成」です。子どもは繰り返すことで理解が深まり、教師も指導・支援の手立てが改善されました。指導と評価を繰り返すことで、授業改善がなされることを実感しました。また、何のために繰り返すのかを理解した上で、単元計画を立てることが大切だと分かりました。



指導主事

そうですね。繰り返すことで、子どもたちが自信を持ってできる場面や、身に付けたことを基に考える場面が増えていくことを、再認識できました。「主体的・対話的で深い学び」につなげるポイントであると考えます。



授業者

二つ目は、キャリア教育の視点を踏まえた「生活年齢に応じた単元設定」です。自分たちが十分に楽しんだ後に、偶発的にお客さんが来られることで、「誰かのため」という思いを持って、関わることができたと思います。他者から喜ばれる経験に結び付ける単元設定が、小学部中学年段階の子どもに適していたと感じました。



指導主事

まずは自分たちでパーティーを行うことで、パーティーのイメージを持つことや知識・技能の定着を目指しました。その後で、普段、関わりが少ない教師に教室を訪れてもらったことで、「お客さんが来てくれると楽しい」という気持ちを持つことができ、積極的に関わることができたと考えます。



授業者としての率直な感想を教えてください。



授業者

単元計画の立て方や、段階的な学習活動の設定の仕方を学ぶことができました。また、本単元を通して、「子どもたちが役割分担をして、みんなで一つのことをやり遂げる授業」を経験することができたので、その後の単元では、個々の能力を生かすことができるよう、必要な教具を考えながら、適切な役割分担をすることができました。

そして何より、準備など大変なこともありましたが、子どもたちが楽しそうに活動していたので、私も頑張ろうと思えました。



中学部の授業実践（ダイジェスト版）

中学部3年 単元「暑中見舞いを出そう」

実施期間 令和3年7月2日～9月8日（全9時間）

ステップ1：単元設定

子どもの実態

本学級は6名の学級である。教師の指示を聞いたり、手本を見たりすることにより、活動に見通しを持って取り組む。自ら課題を見付け、解決することは少ない。

単元観

暑中見舞いは、社会の慣習の一つであり、生徒の実態に応じて様々な作成方法が考えられる。また、送る相手のことを考えながら、自ら工夫でき、達成感を味わえる活動である。

ステップ2：単元目標

知・技

暑中見舞いについて知り、タブレット端末を使って作成する。

思・判表

友達や教師の意見を聞きながら、自ら考えて活動する。

学・人

暑中見舞いを受け取った人(受取人)に喜んでもらえるように、粘り強く作成しようとする。

ステップ3：単元計画

学習活動	重視する学びの姿			時数
	主	対	深	
1 暑中見舞いを出すために、はがきを買いに行こう (1) 転勤した先生から届いたはがきを見る。 (2) 暑中見舞いについて知る。 (3) 送る相手や内容を考える。 (4) はがきを買いに行く。	◎	○		2
2 暑中見舞いの通信面を作成しよう (1) タブレット端末の使い方を知る。 (2) 通信面を作成する。 ・2回繰り返す(2回目*) (3) 通信面を仕上げる。	◎	○	○	5
3 暑中見舞いを出しに行こう (1) 暑中見舞いの宛名面を書く。 (2) ポストに出しに行く。	○			1
4 活動を振り返ろう (1) ビデオメッセージを視聴する。 (2) 今後、はがきを送る機会があることを知る。	○		○	1

焦点を当てた授業*
その4・5

子どもの思考の流れ

主

はがきをもらってうれしいな。
〇〇先生にはがきを送りたいな。
興味・関心や期待感を持つ

対

みんなは誰に送るのかな？
どんな内容にするのかな？
互いの活動を見合う

主

どんな内容にしようかな？
目標や目的意識を持つ

対

〇〇さんのイラストかっこいいな。
教えてもらおう。
文字を大きくしたらいいのかな？
教師や友達とやり取りをする

深

どうしたらもっと良くなるかな。
課題解決に向けて活動する

深

タブレット端末を使って、家でも作りたいな。
課題を見付ける

*焦点を当てた授業：詳細を紹介する授業

ステップ4：焦点を当てた授業の目標と評価規準



Bさん

タブレット端末を使って工夫しながら通信面を作成する。	知・技	タブレット端末の使い方が分かり、操作している。
	思・判・表	教師に助言を求めたり、意見を聞いたりしながら、通信面を作成している。
	主体的	受取人に喜んでもらえるように、時間いっぱい作成しようとしている。

ステップ5：授業計画

★Bさんへの支援



授業の実際

Bさんの学びの姿

学習活動	重視する学びの姿	支援の手立て
1 本時の活動内容を知る。	主：本時の目当てが分かり、活動への見通しを持つ。	<ul style="list-style-type: none"> ・個々の目当てを提示する。 ・通信面を作成するときのポイントを確認し、数種類の見本を示す。㉑
2 通信面を作成する。 (1) 作成内容を考える。 ・文面 ・イラスト ・写真 ・色合い (2) レイアウトする。 (3) 教師に意見を聞く。 (4) 意見を参考にし、再度通信面を考える。	<p>主：書く内容を考えたり選んだりしながら、取り組む。</p> <p>対：困ったときに友達の様子を参考にしたり、教師に質問したりして解決する。</p> <p>対：教師に通信面を見せ、工夫したことを伝えたり、改善点を聞いたりする。</p> <p>深：受取人に喜んでもらえるように、試行錯誤しながら取り組む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・アプリ「かんたんポスカ」の使い方や手順書等を提示する。㉒～㉔ ・互いの活動を見合わせる座席配置にする。 ★表情や行動を観察し、そばに行く、声を掛ける等、質問しやすい状況を作る。 ★工夫点を質問したり、良いところや改善したらよいところを伝えたりする。 ★送る相手を意識するような言葉掛けや取り組む姿勢に対する称賛をする。
3 完成した通信面を披露する。	<p>対：自分なりの表現で、考えや思いを伝える。</p> <p>対：友達のはがきの良さに気付く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・実態に応じた質問で考えを引き出したたり、代弁したりする。 ・工夫した点に気付くように、大型テレビに映す。
4 次時の活動内容を知る。	主：次時の活動に見通しを持つ。	<ul style="list-style-type: none"> ・暑中見舞いを出しに行くことに気付くような発問をする。

主

・教師の説明をうなずきながら聞いた。

・いろいろなイラストを見たり、自分の写真を撮ったりした。
・タブレット端末を操作して、文字や写真の大きさを変えたり、レイアウトしたりした。

対

・「どうすればいいですか？」と、近くにいる教師にアプリの操作方法を聞き、スタンプを変更したり、文字の間違いを直したりした。
・自分が工夫した部分を面白いと感じ、笑いながら、近くにいる教師に見せた。

深

・面白くなるように、何度も眼鏡とひげのスタンプを変えて比べながら、写真を加工した。
・教師の意見を基に、文面を再考したり、全体のバランスを整えたりした。

対

・「喜んでくれるように。」「面白い。」と、自分がどんなことを考えながら作成したか、発表した。

・教師の説明をうなずきながら聞いた。

授業を振り返って

Bさんの授業の目標の評価

知・技	教師の全体説明を聞いた後、実際に操作する活動に取り組んだ。文字の打ち方や大きさを変える「ピンチ」の仕方などが分かり、一人でタブレット端末を操作した。また、手順書に沿って活動を進めることにより、アプリの使い方も理解して作成した。
思・判・表	文面を考えるなどの活動に自信が持てないときに、教師に声を掛けてアドバイスを求めた。また、教師の意見を聞いた後、自分で考えて文面を打ち込んだり、文字の大きさなどを変えたりするなどして、通信面を完成させた。
主体的	「〇〇先生に書く」など相手を意識しながら通信面のデザインを選んだり、撮影した写真をスタンプなどで加工したりする活動に取り組んだ。自分が納得するまで繰り返しタブレット端末を操作しながら、時間いっぱい活動した。

Bさんへの支援の手立ての評価

- タブレット端末やアプリに興味・関心を持ち、アプリ内の定型文やイラストが分かりやすく、楽しめるものが多くあったことから、熱心に取り組んだ。手先に不器用さはあるが、タブレット端末の操作に関してはスムーズに取り組めており、「主体的な学び」の姿を引き出すことにつながった。
- 教師や友達に通信面を見せたり、教師の質問に答えたりする場面を設定したことで、Bさんが工夫して作成し、自分が面白いと感じた部分を教師に見せるなど、「対話的な学び」の姿を引き出すことにつながった。
- 教師の意見を基に、通信面を再考して、写真の位置や文字の大きさを調整する活動に時間いっぱい取り組むなど、タブレット端末を使用したことで、何度もやり直しながら取り組み、「深い学び」の姿を引き出すことにつながった。また、暑中見舞いが完成した際には、達成感を味わう様子が見られた。

単元を振り返って

- 本単元中、友達の活動に注目し、やり方をまねるなど、友達を意識して活動する場面が徐々に増えてきた。また、友達からの意見を取り入れ、活動に生かそうとする様子が見られるようになった。
- 生徒はタブレット端末に対して興味・関心を持ちやすく、積極的に使用していた。また、他の学習場面で、タブレット端末を使う際のルール（タブレット端末の使い方）を守ろうとするなど、本単元を通して身に付けたことを生かす様子が見られた。今後、自信を持ってICT機器を活用し、取り組むことが期待される。
- 繰り返し取り組むことで暑中見舞いが出来上がることに意欲を高める生徒がいる一方で、慣れない活動であったため、完成へのイメージを持ちにくく、タブレット端末を操作することが目的になっている生徒が1名いた。改めて、一人一人の実態に応じた活動設定の大切さを感じた。

実践を振り返って



「三つの学び」の姿を、引き出すことができましたか？



授業者

生徒一人一人が集中して暑中見舞いの作成に取り組み、友達が作成する様子に注目したり、教師とのやり取りの中で自分の考えをまとめたりして、試行錯誤しながら取り組む姿が見られました。このような姿が見られたことから、「三つの学び」の姿を引き出すことができましたと考えます。



指導主事

転勤した教師からはがきをもらい、その返事を書く流れで単元を構成しました。生徒は、はがきをもらう経験が少なかったため、もらったときの喜びを感じ、送る相手のことを考えながら作成することができました。効果的に「主体的な学び」の姿を引き出したことが、「対話的な学び」や「深い学び」の姿を引き出すことにつながったと考えます。



「三つの学び」の姿を引き出すことが、単元目標を達成することにつながりましたか？



授業者

コミュニケーションが苦手なBさんでしたが、本単元では積極的に質問をしていました。また、自分で考えて行動する様子も多く見られるようになるなど、成長した姿が見られました。単元目標を達成することができたと考えます。



指導主事

生徒のタブレット端末に対する興味・関心が高く、活動意欲を高めることができました。また、タブレット端末を使用することで、書くことが苦手な生徒が、伝えたい内容に合う言葉を選んで作成したり、発音が不明瞭な生徒が、作成した文面を、自信を持って発表したりすることができました。生徒の苦手さを補う手段として、タブレット端末を用いることで、自分で考え、粘り強く取り組む姿を引き出すことができ、単元目標を達成することにつながったと思います。



今後の授業づくりに生かしていきたい授業づくりのポイントは、何ですか？



授業者

試行錯誤の手段として、タブレット端末を活用したことです。本実践を通して、生徒のタブレット端末への興味・関心の高さや操作における理解の速さを、改めて実感しました。今後も、タブレット端末を活用した授業実践に取り組んでいきたいと思いますが、そのためには、教師自身がタブレット端末の活用方法についてもっと学ばなくてはならないと考えています。



指導主事

タブレット端末を効果的に使用することで、生徒の困難さを軽減できることを実感する実践となりましたね。タブレット端末を活用する利点として、容易に書き換えたり、大きさや配置を変更したりすることなど、生徒が試行錯誤しながら取り組みやすいことや、試行錯誤した過程を確認できることが挙げられます。しかし、タブレット端末を使用することが目的にならないように、どのような学びのために使用するのかなど、教師がねらいを明確にすることが必要だと考えます。



授業者としての率直な感想を教えてください。



授業者

タブレット端末を使った授業の経験が少なかったため不安がありましたが、生徒の意欲的に取り組む姿や活動の達成感を味わう様子を引き出すことができてよかったです。今後も、生徒の資質・能力を高めていけるような生活単元学習を計画・実践していきたいと思います。



授業改善に
取り組もう！



愛媛県イメージアップキャラクター
みきゃん